教育研究業績書

2025年05月07日

所属： スポーツマネジメント学科　　資格： 講師　　氏名： 豊永　洵子

研究分野	研究内容のキーワード
舞踊(コンテンポラリーダンス),舞踊教育,舞踊方法論	コンテンポラリーダンス,ダンスアウトリーチ,舞踊教育,アートマネジメント,舞踊鑑賞
学位	最終学歴
修士(体育学)	筑波大学大学院人間総合科学研究科体育学専攻

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
1.ゼミナールにおけるダンスマネジメントの実践演習	2021年10月～（現在）	担当するゼミナールにおいて、ダンスマネジメントの実践として武庫川女子大学ダンス部の定期公演における、舞台制作の業務を準備、担当できるよう指導した。
2.教職および舞踊教育としての「ダンスⅠ」授業実践	2021年4月～（現在）	武庫川女子大学　嘱託講師 武庫川女子大学健康・スポーツ科学部、短期大学部健康・スポーツ学科、2023年よりスポーツ・マネジメント学科にて「ダンスⅠ」の授業を担当する。 本科目では、「人はなぜ踊るのか」という問いと共に、ダンスを通してのコミュニケーション、身体操作の多様性、リズムと身体について学修を進めている。
3.幼稚園教諭免許「体育」関する授業実施	2016年4月1日2020年3月31日	名古屋女子大学「体育」専任　助教 「幼児体育」の理論から、発育・発達を理解するための講義を行った。授業内で取り扱う「36の基本の動き」をもとに作成した段ボール遊具を実際に子どもたちの前で披露する場所を提供するなど工夫を行った。
4.中学校・高等学校保健体育科免許取得に関する実技科目「ダンス」の指導	2016年4月現在	星城大学・名古屋学院大学　非常勤講師、武庫川女子大学 嘱託講師 「現代的なリズムのダンス」ではリズムとステップの組み合わせによる自由創作の方法、「創作ダンス」では、コンテンポラリーダンスの手法を用い、体の動きからイメージを連想させる方法を考案した。
5.体育実技「スポーツ1・2」	2016年4月2020年3月	名古屋女子大学　専任　助教 ダンス・フィットネスの内容を実施、ヨガ・ピラティス等のボディーコンディショニング、エアロビクスダンスなどの有酸素運動を通して、受講者が自ら日常の中に「運動」を取り入れる知識・技術・経験を積ませることを目的として行った。
6.保育士資格に関する、保育内容「表現」における「身体表現（ダンス）」及び「運動」の授業実践	2016年4月	名古屋女子大学　専任　助教 名古屋学院大学「子ども表現」非常勤講師 保育士養成・幼稚園教諭養成におけるの内容を担当した。子どもの育ちという複合的な分野においてその特性を講義で教授し、「からだ」を中心に様々な動きをすることの面白さや、子どもたちの「表現」の豊かさに寄り添うための実践を中心に行った。
7.中学校・高等学校保健体育科免許取得に関する実技科目「体つくり運動」の指導	2015年	国際武道大学　非常勤講師 半期科目の担当として講義・実技を担当。部活動などで本格的にスポーツを行ってきた学生に対して運動することの本質を知ることを目的として、主にコミュニケーションを中心とした運動の実施を行った。
8.中学校・高等学校保健体育科免許取得に関する実技科目「ダンス」の指導	2015年	国際武道大学非常勤講師 「現代的なリズムのダンス」ではリズムとステップの組み合わせによる自由創作の方法、「創作ダンス」では、コンテンポラリーダンスの手法を用い、体の動きからイメージを連想させる方法を考案した。
9.教科体育に関する授業実施「体育演習」「体育科教育法」		名古屋女子大学「体育科教育法」「体育演習」 専任　助教 「体育科教育法」では、授業評価方法として形成的授業評価を学生間で行わせ、授業改善の方法を身に付け

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
		させた。「体育演習」では、体育指導の基礎となる、授業準備、並び方などの基本事項から、各領域で取り扱う種目の種目特性を講義形式と演習形式を往還させながら実施した。
2 作成した教科書、教材		
1.ダンスⅠ・ダンスⅡ・ダンスⅢ・保健体育科指導法（武道・ダンス）授業 ダンスノート	2025年4月15日	2025年度入学生用、ダンスⅠ（現代的リズムのダンス・フォークダンス）、ダンスⅡ（創作ダンス）、ダンスⅢ（ダンス技術）、保健体育科指導法Ⅶ（ダンス指導法）の授業を通じて使用する資料と、授業内容の整理するノートを作成した。村越直子、豊永洵子　共同編集・共著 武庫川女子大学ドキュメントセンター発刊
2.ダンスⅠ・ダンスⅡ・ダンスⅢ・ダンス指導法授業 ダンスノート	2024年4月	2024年度入学生用、ダンスⅠ（現代的リズムのダンス・フォークダンス）、ダンスⅡ（創作ダンス）、ダンスⅢ（ダンス技術）、保健体育科指導法Ⅶ（ダンス指導法）の授業を通じて使用する資料と、授業内容の整理するノートを作成した。村越直子、豊永洵子　共同編集・共著 武庫川女子大学ドキュメントセンター発刊
3.ダンスⅠ・ダンスⅡ・ダンスⅢ・ダンス指導法授業 ダンスノート	2023年4月	2023年度入学生用、ダンスⅠ（現代的リズムのダンス・フォークダンス）、ダンスⅡ（創作ダンス）、ダンスⅢ（ダンス技術）、保健体育科指導法Ⅶ（ダンス指導法）の授業を通じて使用する資料と、授業内容の整理するノートを作成した。村越直子、豊永洵子　共同編集・共著 武庫川女子大学ドキュメントセンター発刊
4.ダンスⅠ・ダンスⅡ・ダンスⅢ・ダンス指導法授業 ダンスノート	2022年4月	2022年度入学生用、ダンスⅠ（現代的リズムのダンス・フォークダンス）、ダンスⅡ（創作ダンス）、ダンスⅢ（ダンス技術）、保健体育科指導法Ⅶ（ダンス指導法）の授業を通じて使用する資料と、授業内容の整理するノートを作成した。村越直子、豊永洵子　共同編集・共著 武庫川女子大学ドキュメントセンター発刊
5.ダンスⅠ・ダンスⅡ・ダンスⅢ・ダンス指導法授業 ダンスノート	2021年4月	ダンスⅠ（現代的リズムのダンス・フォークダンス）、ダンスⅡ（創作ダンス）、ダンスⅢ（ダンス技術）、保健体育科指導法Ⅶ（ダンス指導法）の授業を通じて使用する資料と、授業内容の整理するノートを作成した。村越直子、豊永洵子　共同編集・共著。 武庫川女子大学ドキュメントセンター発刊 ンスⅡとダンスⅢを担当した。
6.名古屋女子大学文学部児童教育学科編『教職・保育職シリーズ5　教育・保育の新視点』三恵社	2019年3月	大学2年次の学生を対象とした、より保育・教育の専門性を高めるための補助教材。1年生で学ぶ基礎を固めながら、各専門分野の動向や、その新しい指導方法などを詳しく解説している。担当区分では、ICTを用いた体育授業の方法について解説を行っている。
7.名古屋女子大学文学部児童教育学科編『教職・保育職シリーズ4　教育・保育の学びプラス・ワン』三恵社	2018年12月	初めての実習を終えた学生に対し、学びの循環として、さらにその専門性を高めるための補助教材。担当区分では、「陸上運動」を取り上げ、その授業づくりを「子どもの楽しさ」の理論を中心に考える方法を解説した。
8.名古屋女子大学文学部児童教育学科編『教職・保育職シリーズ3　あたらしい教育をめざして』三恵社	2018年3月	平成30年より始まる学習指導要領の改訂を見据え、新しい教育の在り方、目指すところを中心に中央教育審議会の答申を解説。担当区分において、運動指導におけるICT教育の導入にや、体育でのアクティブラーニングの導入方法について、また、各領域ごとに事例を挙げながら、体育授業のあり方について解説する。
9.名古屋女子大学文学部児童教育学科編『教職・保育職シリーズ1　小学校教諭・幼稚園教諭・保育士をめざす人へ』三恵社	2017年12月	幼稚園教諭・小学校教諭を目指すものを対象として、教科、領域ごとに解説した教科書。担当区分では「よい体育授業とは」という視点から、スポーツと遊びの関係や、学校教育の歴史的変遷を解説。教科としての

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
2 作成した教科書、教材		
		体育や、幼児の運動指導の上で理解しておくべき理論を述べている。
10.名古屋女子大学文学部児童教育学科編『教職・保育職シリーズ2　教育実習で効果的に学ぶために』三恵社	2017年9月	教育実習に行く学生向けの教材。担当区分は「体育」「運動指導」を中心に、体育指導のポイントの解説をしたうえで、初めての実習で「運動指導」について獲得しておきたい知識を幼児の発育発達の側面から、指導方法までを解説する。
11.名古屋女子大学文学部児童教育学科編『教員免許更新講習の理解を深めるための教育・保育の論点ガイド』三恵社	2017年8月	教職免許更新講習向けの教材の執筆。担当区分は「体育」「運動指導」について担当した。特に小学校での「表現運動」幼稚園で「表現」にかかるダンスの指導方法について、実践事例を用いて解説。現在、指導法や評価方法が難しいとされている「ダンス領域」の指南書とした。
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1.星槎大学 非常勤講師	2022年12月～（現在）	非常勤講師。通信制大学の教員免許状に関わる実技（ダンス）のスクーリングを担当。
2.プール学院高等学校　芸術コース非常勤講師	2022年4月～（現在）	非常勤講師。芸術コースにおいて2学年「ダンスⅠ」の授業を担当。コンテンポラリーダンス基礎やレパートリーの指導を行う。
3.総合科学研究所「開かれた地域貢献事業（児童館共催事業）」講師	2018年11月～2019年9月	名古屋女子大学総合科学研究所と名古屋市瑞穂区保健所の共催事業。地域の子ども達を対象とし、児童館にて実施。学校や、ダンス教室では出会えない、コミュニケーションとしてのダンスや、からだで表現することの可能性に触れることを狙った内容を取り扱う。また、心と身体の開放を目指した、表現活動を行うことで、「生きやすさ」を自ら獲得するきっかけとなることを目指した。
4.名古屋市土曜プログラム　講師	2018年10月および2020年2月	名古屋市主催事業の「土曜学習プログラム」の講師を担当する。この企画は、名古屋市内の小学校を対象に、土曜日に様々な講師を招きワークショップ等を行うプログラムである。平成29年度は名古屋市瑞穂区内にある2か所の小学校、平成30年は瑞穂区外の小学校にて「身体を使ったコミュニケ―ションを目的とした活動」をテーマに90分の講座の講師を担当した。
5.豊橋市×PLAT企画 学校アウトリーチ活動　アシスタント	2017年8月および2019年6月	穂の国とよはし芸術劇場PLATの主催する「アウトリーチ」への講師補助。主に豊橋市市内の公立小学校への「出張ダンスワークショップ」を行い、地元の小学生や先生との交流を図っている。主にダンス講師としての参加から、子供の身体表現へのアプローチを直接指導する。
6.星城大学	2017年4月～（現在）	非常勤講師。中高保健体育科教員免許状取得に関する実技科目「スポーツ実技Ⅲ（ダンス）」の集中授業を担当。
7.名古屋学院大学	2017年4月～2020年3月	非常勤講師。幼児の「表現運動」に関する授業担当を行った。
8.名古屋女子大学文学部児童教育学科	2016年4月～2021年3月	専任助教として、幼児教育、児童教育における「表現運動」の科目を中心とした指導、就職支援、ゼミナールなどを行った
9.つくば市大曽根小学校「親子活動」講師	2015年10月	「親子活動」の実行委員の先生より依頼を受け実施。小学校4年生を対象とした、親子教室の講師を行う。内容について事前に担当教員と情報交換を行うなどして決定した。親子のコミュニケーションに重点を置いた「からだ遊び」、「コミュニケーション・ダンス」を約90分の内容で行い、先生方より大変好評価を得た。
10.［TAISO LAND」におけるキッズジャズダンスの指導	2013年8月2017年3月	つくば市内子どもの体操教室におけるダンス指導の実践。対象4歳～12歳の子どもとし、ジャズダンスを基礎とした、リズムの取り方、ステップの習得、観客に向けたダンスパフォーマンスまでを1年のサイクルとして行った。体操教室内という環境を考慮しダンスに限らずあらゆる運動場面で必要になる基本的な運動を取り

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
		入れる実践を行った。
4 その他		
1.第27回少人数による創作ダンスコンクール ARTISTIC MOVEMENT IN TOYAMA 2024	2024年9月15日	指導を行ったダンス作品「合戦最後尾」が高岡市長賞を受賞し、エキシビション公演にて上演された。
2.座・高円寺　ダンスアワード Ⅱ第3位	2023年12月10日	「座・高円寺　ダンスアワードⅡ」 指導した作品「魅惑リズム』が、第3位に入賞した。 会場：杉並区立杉並芸術会館
3.第２５回少人数による創作ダンスコンクール ARTISTIC MOVEMENT IN TOYAMA 2022	2022年9月	指導した作品「？…ふ(クエスチョン)」（武庫川女子大学ダンス部） が特別賞を受賞した。
4.武庫川女子大学ダンス部　副部長	2021年4月～（現在）	
5.第25回全日本高校・大学ダンスフェスティバル（神戸）文部科学大臣賞	2015年8月	第25回全日本高校・大学ダンスフェスティバル（神戸）において指導・引率した作品「裸密」が文部科学大臣賞を受賞した。
6.第23回全日本高校・大学ダンスフェスティバル（神戸）文部科学大臣賞受賞	2013年8月	第23回全日本高校・大学ダンスフェスティバル（神戸）において出演作品「からだから」が文部科学大臣賞受賞した

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許		
1.からだスキャンセルフマッサージ指導者資格	2020年6月	フォームローラー、ミニボールを使用した、コンディショニング指導のインストラクター講座の修了
2.STOTT　PILATEAS　指導資格	2015年8月および2018年8月	Merrithew公認トレーニングが実施する、IPM（初中級）およびAM（上級）のマットピラティスの講師養成コースの修了
3.高等学校教諭　専修免許状（保健体育）	2015年3月	
4.中学校教諭　専修免許状（保健体育）	2015年3月	
5.高等学校教諭　一種免許状（保健体育）	2013年3月	
6.中学校教諭　一種免許状（保健体育）	2013年3月	
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1.令和６年度　兵庫県高等学校体育連盟ダンス部選手強化育成事業　第２４回兵庫県高等学校春季ダンスコンテスト審査員	2025年2月1日	令和６年度　兵庫県高等学校体育連盟ダンス部選手強化育成事業にて行われた第24回兵庫県高等学校春季ダンスコンテストにおいて、コンクール部門の審査員を務め、講評を行った。 会場：明石市民会館　アワーズホール（大ホール）
2.第24回兵庫県高等学校ダンス新人大会　審査員	2024年11月2日	第２４回兵庫県高等学校ダンス新人大会において審査員務めた 会場：丹波篠山市立田園交響ホール
3.第12回　朝日新聞社主催　小中学生ダンスコンクール西日本大会　審査員	2024年8月20日2024年8月21日	朝日新聞社主催全日本小中学生ダンスコンクール西日本大会において、全部門の大会審査を行った。 会場：神戸文化ホール（大ホール）
4.令和５年　兵庫県高等学校体育連盟ダンス部選手強化育成事業（実技講習会）	2023年8月25日	兵庫県高等学校体育連盟ダンス部選手強化育成事業（実技講習会）において「空間を使ってダイナミックに動く！」をテーマとしてダンス講習会講師を務めた。
5.第11回　全日本小中学生ダンスコンクール西日本大会　審査員	2023年8月13日14日	朝日新聞社主催全日本小中学生ダンスコンクールにおいて、全部門の大会審査を行った。 会場：神戸文化ホール（大ホール）
6.令和4年　兵庫県高等学校体育連盟ダンス部選手強化育成事業（実技講習会）	2022年8月26日	令和4年　兵庫県高等学校体育連盟ダンス部選手強化育成事業（実技講習会）において実技講習の講師を「呼吸で踊る」をテーマに行った。
7.オンラインによるピラティス指導	2020年4月～現在	オンラインでのダンスクラスを開講している劇場である「黄金4422BLD(愛知）」の依頼により、オンラインでのピラティスグループセッションを行う。「動きやす体づくり」をテーマに、解剖学的なアプローチからエクササイズを提案した。また、アスリート向け・一般向け・ダンサー向けのコンテンツを作り、個別指導

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
		も実施している。
8.総合科学研究所「開かれた地域貢献事業（保健所共催事業）」　講師	2017年10月2019年11月	名古屋女子大学総合科学研究所と保健所の共催事業。地域住民への健康の保持増進を目的とした、ピラティスベースの軽体操、及び、コミュニケーションを目的としたレクリエーションを実施した。また、ボールを使ったレクリエーションなどを通して、健康寿命の増進（QOLの向上）に向けた、運動のアプローチを行った。
9.長久手市文化の家「舞踊系創造スタッフ」	2017年4月～2021年3月	愛知県長久手市にある「長久手市文化の家」の専門職スタッフ。舞踊系創造スタッフとして、主に舞踊関連の自主事業の企画や運営、地域住民に向けたアートの発信事業、福祉事業との連携等を行う。また、他の専門職スタッフと共に、コンサートの実施などの実演も行っている。
4 その他		
1.One Body, One Career Intensives (OBOC)	2023年6月13日25日	NYにて開催されたCounter Techniqueのインテンシブである「 One Body, One Career Intensives (OBOC) 」に参加。創始者の Anouk van Dijk’s 氏による Countertechnique methodほか、 Alexander Technique 教師の Tom Koch氏のアレクサンダーテクニック講座を受講した。
2.学校教育センター委員	2023年4月（現在）	
3.大学オープンキャンパスの企画・運営	2017年4月～2021年3月	名古屋女子大学への入学希望者や、その保護者に対し学科の魅力説明や、案内、また、在学生ボランティアと共に、教職への理解や興味・関心を高めるための工夫を凝らした展示などを行った。この活動を通し、大学で学ぶべきことの検討、それを伝達する方法への工夫、学生との授業外での交流をすることで、その実態把握などを行った。
4.小学校・幼稚園教諭養成課程の学生にむけた、人間関係への対応力を育成する実践セミナーの企画・運営	2016年6月～2019年9月	小学校及び幼稚園教諭養成課程の学生へ向けた、実践的な内容の講習会の企画・運営を行う。このセミナーは、幼稚園の園長や、教育学の研究者など幅広く招き、学生へ向けて、教員になるための興味・関心をより高めていくための活動である。平成30年度は、地域社会へ向けた企画として「学びの文化祭」と称した催しを行う。子どもの発育発達、表現力の育成に寄り添ったワークショップやブースを設置した。平成31年度は、学生委員会を設置し、学生主体の学びを促進する工夫などを行った。

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
1.子どもの心と体のストレスを緩和する リラックス学級レク75	共	2022年8月	明治図書出版	子どもを対象とし、心や体がリラックスすることを目的としたレクリエーションを75本の紹介している。WHOの健康の定義である「身体的」「社会的」「精神的」の３つのカテゴリーに分け、まとめている。 担当部分として、身体を使ったペアストレッチの方法など2例を執筆した。 編著：鈴木邦明・赤堀達也、分担執筆：豊永洵子、他17名
2.ダンスノート	共	2021年4月1日から	武庫川女子大学ドキュメントセンター	武庫川女子大学健康・スポーツ科学部の授業である、ダンスⅠ、Ⅱ・Ⅲおよび、保健体育科指導法（ダンス）において、自主作成教材を作成した。
3.オンライン、ソーシャルディスタンスでできる 学級あそび&授業アイスブレイク	共	2020年12月	明治図書出版	どもを対象とし、コロナ禍オンラインでの学級づくりに役立つアイデアを紹介している。 担当部分として、「スペースを見つけて歩こう」「エスパーじゃんけん」など3例を執筆した。 編著：鈴木邦明・赤堀達也 編著　　分担執筆：豊永洵子、他14名
4.教員免許状更新講習	共	2018年7月	名古屋女子大学児	教員免許状更新講習の受講者をはじめとする、教育・保育の実践家

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
の理解を深めるための教育・保育論点ガイドNo.3			童教育学科（編）三恵社（202項）	が、当該分野の自訴事項に触れながら、教育・保育に関する現代的論点の理解を深めていくためのガイドブック。 第2章　第6節『体育授業を創造する―学習目標に向かった主体的な学びとは―』 著者：豊永洵子、他24名
5.教職・保育職シリーズ5　教育・保育の新視点	共	2018年3月	名古屋女子大学児童教育学科（編）三恵社（177項）	2年生の学生向けに、学科教員による専門性や視野を広げていくための補助教材。各分野ごとの実践的な取り組みや、最新の状況また、それを支える理論の解説が記載されている。 第2部第9章『体育授業実践における模擬授業の効果―授業計画からICTを使用した省察及び評価をみる― 著者：豊永洵子、他31名
6.教職・保育職シリーズ1　小学校教諭・幼稚園教諭・保育士をめざす人へ	共	2017年12月	名古屋女子大学児童教育学科（編）三恵社　（261頁）	よい体育授業の実践に向けた体育の概論、幼稚園・小学校で体育や運動指導をするうえで理解すべき体育理論について、体育とは、スポーツとはという論点を、体育科の歴史的変遷から、スポーツ教育の成立、戦後のスポーツ教育について解説。また、スポーツの「遊び」的解釈の仕方から、体育におけるスポーツの教育的可能性について解説。更に、幼児・児童の運動と発育発達に関する内容を整理し、運動の仕組みから、指導法、子供の運動にまつわるけがなど安全管理について解説する。 第3部　教科の指導法（小学校）基礎編　第7章　児童教育におけるより良い「体育」の授業実践に向けて（pp. 88～96）、第8章「体育科教育法」で学ぶ小学校体育の授業実践力（pp. 149～154） 著者：豊永洵子、他32名
7.教職・保育職シリーズ2　教育実習で効果的に学ぶために	共	2017年9月	名古屋女子大学文学部育学科（編）三恵社（149頁）	小学校教育実習及び幼稚園実習の実施において、体育の授業や運動遊びを効果的に行う方法、幼児期・児童期の運動処方や、その上で理解しておくべき、幼児の運動の仕組みなどの理論等も解説する。また、幼児の運動内容の指導法では、「表現」「健康」（運動能力）の側面から、身体表現の効果を13側面より説明し、子どもの保育・指導の上で必要な発育・発達的理解及び、表現運動領域から「生きる力」を育成する体育・運動遊びについて解説する。 第2章　教科の指導法　第7節　体育―指導力の向上に向けて―（pp. 77～80）、第3章　保育内容の指導法　第4節　表現　第2項幼児期における身体表現に関する指導 （pp. 105～108）著者：豊永洵子、他29名
8.教員免許更新講習の理解を深めるための教育・保育の論点ガイド	共	2017年8月	名古屋女子大学文学部児童教育学科（編）三恵社（72頁）	幼稚園教育要領「表現」において、子どもの運動処方について、身体表現（ダンス）の視点から具体的な取り組みの実践事例を挙げながら記載している。子供の運動と発育発達に対して、幼児が走ったり、跳んだりと、自由にそして十分に体を動かすめの環境づくり、幼児や子どもの表現を引き出すためのリズムや音楽の紹介なども記載している。 第2章　小学校・教科の指導法　第7節　体育科指導法、第3章領域および保育内容の指導法　第3節　幼稚園教諭及び保育士養成課程における「身体表現」授業について―保育の表現技術（体育）の授業事例から―（pp. 37～41、pp. 50～53）著者：豊永洵子、他25名
9.教職・保育職シリーズ3　あたらしい教育をめざして	共	2017年3月	名古屋女子大学児童教育学科（編）三恵社（175項）	新学習指導要領の体育・保健体育における答申の整理を行い解説する。特に、「ゲーム・ボール運動」の指導と実践にむけてその指導内容の概要を示した。各年代ごとのボール運動における技能体系や目標を再整理し、その上で、良い体育授業に向けた運動指導のための単元計画や指導案の作成のための心得について解説を行う。また、体育の授業内の教師行動の中で考えておくべき事項に関しても解説を行った 第2部11章「体育教育のこれから―「ゲーム・ボール運動」の学習内容から―」　（pp. 139－144） 著者：豊永洵子、他22名
10.教職・保育職シリーズ4　教育・保育の学びプラス・ワン	共	2017年3月	名古屋女子大学児童教育学科（編）三恵社（160項）	名古屋女子大学児童教育学科3年生に向けた保育・教育にまつわる補助教材。学習指導要領・幼稚園教育要領の改訂、保育士過程の見直しなどの社会的変化について、各教員が各々の視点からその専門の内容について執筆している。 第2部第5章「わかる」「できる」が「楽しい」につながる授業づく

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
				り―陸上運動の単元づくりと指導―（pp. 43-48） 著者：豊永洵子、他27名
2 学位論文				
1.現代におけるダンスにみられる 動きの傾向に関する研究 ―モダンとコンテンポラリーの認識の違いに着目して―	単	2013年3月	筑波大学大学院修士論文	モダンダンスとコンテンポラリーダンスを対象に、ダンスのジャンルを識別する様々な要因の中から特に「動き」に着目し、鑑賞者の視点から、2つのダンスの傾向と特徴について、テキストマイニングを用いて明らかにした。その結果，モダンダンスと認識する動きの特徴と、コンテンポラリーダンスと認識する動きの特徴に認識についての傾向を得ることができた。ここから、これまで認識が曖昧であるとされてきたモダンダンスとコンテンポラリーダンスについて、鑑賞者は両者の動きに特徴的な傾向を見出し認識していることが明らかとなった。
3 学術論文				
1.戦後の学校体育におけるダンス教育の変遷―「鑑賞」に着目して―（査読あり）	単	2024年3月	愛知県立大学大学院人間発達学研究科　人間発達学研究第15号　p.101－112	戦後のダンス教育について「鑑賞」を視点に内容の変遷を素描し、検討を行った。その結果、戦後体育におけるダンス教育の変遷の中で、「鑑賞」を創作とつなげて「みる」と「する」を往還するダンス学習のスタイルが定着してきたが、今日のダンス教育に至っても「鑑賞」は学習者同士の交流や見せ合い（観察）としての行為にとどまっており、ダンス作品の「鑑賞」に至るような「鑑賞力」の育成につながる学習が不十分であることが明らかになった。
2.創作プロセスに着目した「舞踊創作デザインシート」の作成と有用性の検証（査読あり）	共	2021年3月	大学体育スポーツ学研究 18（0）	本研究は，舞踊創作の学習プロセスのサポートを念頭に，ディスカッション能力や考えをまとめる技術の向上を狙った教材（「舞踊創作デザインシート」）の開発を目的とした．その結果，創作を通して他者との関わりや対話力の向上を感じるという従来の舞踊教育における定石に加え，「思考の整理」「創作プロセスへの気づき」「従来の方法」との違いという対象者による内的な自己省察が顕在化された．更に，大学生にとって作品の社会的価値への認識が向上し，作品鑑賞時の自覚や創作要素に関する認識についての変化がみられた．本研究の成果により，学習者にとって創作プロセスの見える化をすることによって，創作に要する時間の短縮や質の向上につながる一方，教材の発展的な作成を通して，ダンス経験の少ない指導者であっても，質の高い創作プロセスの指導が可能となることが期待される． pp ．84-96, 三輪 亜希子・高木 英樹・平山 素子・豊永 洵子
3.地方公共劇場における舞踊自主制作事業の現状－「長久手市文化の家」を事例に－（査読なし）	単	2020年3月	名古屋女子大学紀要　人文社会編第66号	平成28年に研究者が実施した公演を対象に、日本の公共劇場における舞踊自主事業について論じた。これまでの公共劇場における運営状況に関する課題を明らかにした。また対象とした公演は、愛知県内の2つの自治体の公共劇場が連携していたことから、これを事例に、明らかにした課題に対する提案を行った。著者：豊永洵子、pp. 327-335
4.ダンス・アウトリーチ活動の意義に関する調査―豊橋市「学校アウトリーチ」を事例に―（査読なし）	単	2019年3月	名古屋女子大学紀要　人文社会編第65号	学校アウトリーチの意義や役割について明確にするための段階的調査として、豊橋市の事例を調査対象とし、アンケートから現場の声を聞き取った。文献研究からは、ダンスにおいて「アウトリーチ」というものが体験型の「ワークショップ」に留まっており、名称が異なるが内容に関しては「アウトリーチ」ならではの特徴を見出すまでに至っていないことが明らかになった。また、アンケート調査の結果から、アウトリーチとして講師主導の下、子ども達と一緒に楽しんだり、体験することは、教員の学びにもつながっているのではないかということが推察された。 著者：豊永洵子、pp. 373－382
5.学校管理下における熱中症事故に対する学生の意識　―熱中症事故から学ぶ危機管理への意識付け―（査読なし）	単	2018年12月	児童教育学論集第2号	平成29年に愛知県豊田市で発生した熱中症による児童の死亡事故を教材に、養成期の学生たちへの危機管理に関する授業を行い、それについてアンケート調査を行った。アンケートの結果より、多くの学生たちが「もし、自分だったら…」という視点を持ち、そこから、どのように対策を行っていくかという点について考えていたことが明らかになった。本研究より、大学での教科体育の学修において、「リスクマネジメント」について理解し、その中でいかに体育授業を運営していくかということについて教授していく必要性がう

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
3 学術論文				
				かがえた。 名古屋女子大学文学部児童教育学科（編） 『児童教育学論集　第2号』（pp. 46－52）
6.運動遊びを中心とした模擬保育の実践と意義　―「保育実践力」育成のための評価と省察を手がかりに―（査読なし）	共	2018年12月	児童教育学論集第2号	「保育実践力」の育成のため評価と省察を手掛かりとして、運動遊びを中心とした模擬保育実践の意義について検討を行った。その結果、模擬保育を実践した全学生は、他者からの評価や実践映像を確認すると同時に、また自身も観察者や子ども役の体験を行う機会を得られていることが明らかとなった。これにより、省察を行うことは学生が自身の学びが深められ、模擬保育の意義を認識することにつながることが確認した。 著者：眞崎雅子・倉田梓・豊永洵子（pp. 137－146）
7.小学校教員養成課程における体育科模擬授業の実践―ICTを利用した形成的授業評価の活用―（査読なし）	単	2018年10月	東海北陸教師教育研究　第32号	小学校の体育科の授業力の向上におけるICT機器の活用について検討した。体育の専門家でなくとも体育指導を行う小学校において、体育の専科課程を持たない小学校教育養成課程での体育模擬授業における授業力の向上させる支援として、「①模擬授業を再構成することの効果について」「②ICTを活用した授業評価の活用について」の2点を報告した。 著者：豊永洵子，pp. 25-38
8.養成期に身に付けたい「身体表現」の学修内容の検討（査読なし）	単	2018年3月	名古屋女子大学紀要　人文社会編第64号 （519項）	幼児教育における「身体表現」の在り方について、これまでに様々な実践や研究が行われてきた。幼児教育・保育において、5領域として「表現」が制定されたことで、身体を使った表現にも注目が集まっている。しかしながら未だに「音楽」「図工」に頼ってしまっている現状は払しょくしきれていない。そこで、養成期の学生に対して行った身体表現の授業から、これを支える保育者のからだへの気付きに着目し、身に付けるべき身体表現の検討を行った。ここから、学生たちの「ダンス」のイメージの変化、体遊びから身体表現への派生的な学修が、これらを未来的に支える保育士養成で学生が柔軟に「身体表現」をとらえるための手立てになるのではないかと考えられた。 著者：豊永洵子、pp. 451～463
9.イギリスの大学ダンス教育に関するインタビュー調査（査読なし）	共	2018年3月	尚美学園大学芸術情報研究　第28号	イギリスの大学にて舞踊コースあるいは舞踊学部に所属をした経験のある日本人ダンサーと、現在指導を行なっている大学教員を対象にインビュー調査を行った。前者へは、留学を選んだ理由から現在の活動に通じる学びに関して、後者へはカリキュラムに関する内容や教育者としての姿勢に関して、履修者の視点と指導者の視点それぞれに聞き取りを行った。インタビュー内容から舞踊教育の動向を理解し、指導者個々がどのような視点で教育方針を固めながら指導を行なっているのかということについて考察を行った。 著者：三輪亜希子，豊永洵子pp.41-46
10.体育科授業の理論と方法とその評価（査読なし）	単	2018年2月	名古屋女子大学文学部児童教育学科編『教育・保育モノグラフNo.2　学びの循環』三恵社	小学校体育科の授業づくりについて、その理論、や実態そして、評価方法について、文献研究から整理することで、新米教員が体育授業の実施に向けてどのようなことを考えながら計画などを立てるべきか、養成期にどのようなことを考えるべきかについて考察を行った。ここから、体育授業における特殊な授業形態についての把握、個々の領域の特性をいかにうまくつかんでいくかということの重要性が示唆された。著者：豊永洵子、pp. 130-139
11.スポーツの持つ教育的可能性―ボール運動の技術習得と楽しさを考える―（査読なし）	単	2017年10月	児童教育学論集第1号　三恵社（264項）	ボール運動のなかでも、バレーボールの技術習得から実践までを対象に、スポーツの授業学生の事業後の簡易記述より、その「楽しさ」について考察を行った。特に技術の習熟度によって、実践の際「楽しさ」に差が生まれやすい内容ではあるが、類似のニュースポーツの導入や、チームティーチングの手法を取り入れることで、学生各々が自分のレベルで「楽しさ」を発見することにつながった。著者：豊永洵子、pp. 65-70
12.児童期に育てたい運動感覚・技能　―新学習指導要領に向けた「体つくり運動」の考察―（査読なし）	単	2017年10月	児童教育学論集第1号　三恵社（264項）	小学校における運動感覚・技能の習得について「体つくり運動」の領域に着目し、整理を行った。体力構造の整理や、体つくり運動の現状について先行研究を検討した。ここから、小学校の「体育科」にとって、体つくり運動の考え方は、体育指導の苦手な教員が、横断的に授業を行うアイデアを得るためにも、今後検討が必要であることが明らかとなった。

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
3 学術論文				
13.教員養成課程学生の表現運動への理解に関する一考察 ～舞台鑑賞経験に関するアンケートをもとに～（査読なし）	単	2017年2月	名古屋女子大学紀要　人文社会編第63号（263項）	著者：豊永洵子、pp. 71-76 本論文では体育の中の「する・みる・ささえる」のうち「みる」に着目し幼稚園教諭養成課程に在籍する学生の「舞踊鑑賞」の経験を調査した。その結果より、表現遊びの指導と「鑑賞」の経験値の関係性を、舞台芸術に対する意識・意義の側面から検討を行った。ここから、身体表現・表現運動・ダンス指導の難しさを「鑑賞」という視点からの解決策について考察を行った。
14.小学校体育での「表現運動」指導について―ダンスワークショップの導入の検討から―（査読なし）	単	2017年2月	教職・保育モノグラフNo.1　卒業研究をこえて（263項）	著者：豊永洵子、pp. 127～134 小学校における「表現運動」の領域の指導方法について、ダンスワークショップを事例に、リズムダンス・即興表現の指導方法を検討した。また、ワークショップの中での子供の表現の変容を調査することから、ダンスワークショップの可能性を考察した。更に、この活動の今後の導入方法について、学校・劇場・教員・アーティストそれぞれの役割を検討することで、子どもの自由な身体表現を導き出し、生きる力の育成のための「ダンス」の在り方について考察を行った。 名古屋女子大学文学部児童教育学科（編）
15.幼児の体力向上を目指した「運動遊び」―「コンドルズの遊育計画！」を事例に―（査読なし）	単	2017年	名古屋女子大学文学部児童教育学科編『教職・保育モノグラフNo.1　卒業研究をこえて』（264項）	著者：豊永洵子p. 182－p. 187 子供の運動と発育発達について、幼児期運動指針で示される「幼児期に獲得しておきたい基本の動き」を示し、遊びの中で行う幼児の運動指導の方法や、子どもの発達段階を考えながら行う運動処方について整理を行った。また、「コンドルズの遊育計画！」の事例を取り扱い、運動遊びのワークショップについて検討を行った。 著者：豊永洵子p. 182－p. 187
その他				
１．学会ゲストスピーカー				
２．学会発表				
1.ダンスの鑑賞学習について	単	2024年10月26日	第4回日本ダンス研究会 会場：お茶の水女子大学共通講義棟1号館	本研究の対象である「ダンス」は、ダンスそのものが成立する上で「みる」という存在は不可欠である（松本，1993）にもかかわらず、学習内容において「鑑賞」の視点には重点が置かれておられていない（豊永2024）。そこで、本研究ではダンス領域の学習において「みる（鑑賞）」という観点に着目する。「鑑賞」とは、多く芸術の領域の学習において、平成期に学習内容として提示され、模索されてきた。今回は特に「対話型鑑賞」に着目し、「鑑賞」の学習方法を検討し、日本での実践を参考にその意義や課題を整理した上で、ダンスの鑑賞学習への応用における意義および課題について明らかにすることを目的とした。
2.ダンス授業における「鑑賞」の意味	単	2022年6月	第27回　日本体育科教育学会　学会大会 会場：北海道教育大学札幌校	ダンス領域は2008年の学習指導要領の改訂により男女共修および必修となったものの、未だ内容、評価、指導法などあらゆる点に不安要素が伺える。 ダンスが成立するために、「踊る・つくる・みる・支える」のすべての要素が必要不可欠である。特に「みる」視点について、齋藤・片岡（1983）らが「ダンスが成立もしくは存在するうえで『観る』をいう第3者の存在は不可欠である」と述べるように、ダンスが存在するための条件であるといえよう。しかしながら、体育科にあるダンス授業の中では「踊る・つくる」に多くの時間が割かれ、「みる」視点である「鑑賞」はメインとして取り扱われて行われておらず、単元のまとめとして、子どもたちの相互評価のために行われている程度である。 そこで、本発表ではダンス授業の方法について新たな手法を提案すべく、「鑑賞」の視点に焦点を当て、特に、ダンス授業における「鑑賞」を中心とした授業実施の現状と課題を整理した。
3.効果的なダンス文化の普及に向けた教育プログラムの開発について	単	2022年2月	関西圏女子大学連携プロジェクト第10回異分野交流会	学校でのダンス教育において、平成20年以降の学習指導要領の改訂により様々な模索が続く中、子どもと教師、そしてダンスアーティストが協働する「ダンスアウトリーチ活動」のプログラム開発に向けた提言を行った。
4.幼児の表現を支える保育者の身体表現	単	2019年8月	全国幼児体育学会　第15回大会　口	幼児の「表現」のうち身体表現に着目し、それを支える保育士・幼稚園教諭となる養成校の学生を対象としたアンケートを実施した。

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
２．学会発表				
―大学生の考える「表現」に着目して―			頭発表	保育所保育指針における「表現」の在り方を整理した結果、この時期の子どもたちの支援においてその根底に「表現運動・遊び」が存在していることが示唆された。
5.子どもの表現運動へのコンテンポラリーダンスの活用について―穂の国とよはし芸術劇場ＰＬＡＴの活動調査から―	単	2017年12月	舞踊学会　論文発表　口頭発表	豊橋市にある穂の国とよはし芸術劇場PLATの協力の下、本劇場が行っている「学校アウトリーチ」に着目した。学習指導要領の改訂から、約10年が過ぎようとしている最中、ダンスワークショップを学校で行う意義について考察した。その中で、アートの学校教育へのアプローチの方法について、問題点を明らかにすることができた。引き続き、PLATの協力を得て、調査を継続している。
6.現代におけるダンスにみられる動きの傾向に関する研究―モダンとコンテンポラリーの認識の違いに着目して―	単	2015年2月	平成26年度JAPEW未来世代の研究発表会　第58回研究論文発表部門 ポスター発表	修士論文のポスター発表。現代的な踊りを踊るダンサーの動きを見て観客がどのような動きにおいて「コンテンポラリーダンス」と「モダンダンス」と識別するのかを調査。6件法を用いて「コンテンポラリーダンス度」「モダンダンス度」を調査。更にその理由についての自由記述の回答をテキストマイニングを用いて分析考察を行った。その結果モダンダンスと認識する動きの特徴として「①バレエ・テクニック②一定のリズム③ポーズや型④共通した美しさ」が抽出され，コンテンポラリーダンスと認識する動きの特徴として「①身体の細部への意識②軸・重心の不安定さ③フロアでの動きの多様性④独自性⑤新しさ」という認識の傾向を得ることができた.
7.コンテンポラリーダンスの動きの傾向に関する研究―モダンダンスとの比較から―	単	2014年12月	比較舞踊学会　第25回大会　口頭発表	現代的な踊りを踊るダンサーの動きを見て観客がどのような動きにおいて「コンテンポラリーダンス」と「モダンダンス」と識別するのかを調査。6件法を用いて「コンテンポラリーダンス度」「モダンダンス度」を調査。更にその理由についての自由記述から回答を得た。その結果、モダンダンスとコンテンポラリーダンスの違いについては認識しているが、これについて明確な言語化はしづらいのではないかということが示唆された。
３．総説				
４．芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
1.第56回　武庫川女子大学ダンス部定期公演「昇華」	共	2025年2月23日	第56回　武庫川女子大学ダンス部定期公演「昇華」 会場：あましんアルカイックホール　オクト	指導する武庫川女子大学ダンス部の定期公演の演出指導、作品指導、舞台制作指導及び補助を行った。
2.「合戦最後尾」、「コンセントはこーせんと」	共	2024年9月	第27回少人数による創作ダンスコンクール	コンクール出場のダンス作品の指導を行った。 指導を行った作品「合戦最後尾」が高岡市長賞受賞を受賞した。 「合戦最後尾」出演：塚田結子、阿部佳奈、岡田亜弓、遠藤麻央、峯野純怜 「コンセントはこーせんと」出演：大迫響、井藤真穂
3.precari	単	2024年5月11日	「アカイクツ企画」 企画：SESSION HOUSE	神楽坂SESSION HOUSE（東京）主催「アカイクツ」企画への出演 作品名「precari」 作・出演：豊永洵子 照明：井関美穂
4.Image	単	2024年1月26日	西宮プレラホール	公演「音と動きのきらめくところ」出品 「Image」の振付・演出及び出演 出演：豊永洵子・矢木一帆　演奏：竹本玲美（ピアノ）
5.第５５回武庫川女子大学ダンス部定期公演「Infinity]	単	2023年12月16日	会場：武庫川女子大学公江記念講堂	「Precari」ダンサー７名に対して、振付、演出を行った。 また、劇場運営について指導を行った。
6.「魅惑リズム」	共	2023年12月10日	座・高円寺　ダンスアワードンスアワードⅡ	指導した作品「魅惑リズム』が、「座・高円寺　ダンスアワードンスアワードⅡ」で第3位に入賞した。 会場：杉並区立杉並芸術会館
7.第3回コンテンポラリーダンス公演「Speacies―パンタレイー」	共	2022年11月および12月	会場：長野市芸術館アクトスペース、北千住BoUY	公演制作、衣装製作・デザインを行った。
8.Hadakanbo	共	2022年10月	SPACE９（大阪）	出演 主催：Wandarim

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
４．芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
9.「？…¿(クエスチョン）」	共	2022年9月18日	第25回少人数による創作ダンスコンクール　ARTISTIC MOVEMENT IN TOYAMA 2022	.指導した作品「？…¿(クエスチョン)」（武庫川女子大学ダンス部）が「特別賞」を受賞した。
10.音楽×ダンス in KOBE	単	2022年9月	神戸デザインクリエイティブセンターKIITO	ダンスとコンテンポラリーダンスのコラボレーション企画の企画運営および創作・出演
11.回遊	単	2022年5月	TedxKOBE2022「回遊」	出演・スピーカー 「回遊」 「誰にでもあるダンス」「ダンスである状態」とは何かを模索する中で、自己と他者、あるいは、空間と時間の回遊を実践。 音楽：井狩温子 会場：ステージ フェリシモ ホール（Stage Felissimo Hall）
12.第2回コンテンポラリーダンス公演「Speacies一種一」	共	2021年11月	会場：長野市芸術館アクトスペース	「Speacies一種一」への出演、および公演の企画制作を行った。
13.「Species－種－」	共	2021年2月	赤レンガ倉庫	制作・リハーサルアシスタント・出演 審査員奨励賞受賞
14.創造スタッフ冬のコンサート「sweet suiet」	共	2020年12月	長久手市文化の家　森のホール	企画・演出・出演
15.光と音の散歩道	単	2020年11月	主催：長久手市観光協会 リニモ公園西　特設会場	作品創作・出演
16.処方箋ダンス	共	2020年11月	長久手市文化の家　風のホール	処方箋ダンス 主催：長久手市文化の家 企画・出演
17.Drive in Dance	共	2020年10月25日	長久手市文化の家　芝駐車場特設ステージ	Drive in Dance 制作・出演：豊永洵子 音楽：弓立翔哉 協力：小林大地
18.Online ARTopia!	共	2020年6月	オンライン配信	企画・制作・出演 コロナ禍の自粛中に2019年に実施したARTopia!を家でも楽しめるよう、世界各国のダンサーを踊りでつなぐ企画の実施。
19.豊橋芸術劇場PLAT ダンスレジデンス	共	2019年12月	豊橋劇術劇場PLAT	「speacies」の続編のクリエーションのため、豊橋劇術劇場PLATのダンスレジデンス事業への採択
20.創造スタッフ冬のコンサート「暴れ雪だるま」	共	2019年12月	長久手市文化の家　森のホール	企画・演出・出演
21.NHK　Eテレ「なりきむーにゃん　生き物学園」公開収録	共	2019年12月	日本科学未来館（東京）	NHK　Eテレ「なりきむーにゃん　生き物学園」公開収録 出演・振付
22.ラボラトワール・ド・シルク	共	2019年11月～	京都西山高校（京都）他	出演・演出補助
23.「mongata」	単	2019年11月	緑文化小劇場×ナゴコン　ダンスに行こう！ 緑文化小劇場（愛知）	作・出演
24.「ARTopia!!」	共	2019年8月	長久手市文化の家　風のホール（愛知）	企画・制作・演出補助
25.「Species－種－」	共	2019年7月～	長久手市文化の家　風のホール 黄金4422bld.（愛知） 神奈川県立青少年	「Species－種－」 作・演出　井田亜彩実 出演・制作・コスチュームを担当した

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
４．芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
			センター YCC ヨコハマ創造都市センター（神奈川）	
26.創造スタッフ七夕企画　文学パフォーマンス「智恵子抄」	共	2019年7月	長久手市文化の家　情報ラウンジ（愛知）	『智恵子抄』演出・出演
27.Glow!　Vol.7	共	2019年6月	名古屋市青少年活動センターユースクエア（愛知）	「three component of composition」作・出演
28.黄金4422Bld　ダンスレジデンス	共	2019年6月	黄金4422bld.（愛知）	制作、出演
29.マドモアゼル・シネマ　旅するダンス2019　「平成行進曲」	共	2019年4月	神楽坂セッションハウス（東京）	レジデンスカンパニー「マドモアゼルシネマ」公演に出演
30.創造スタッフ企画「偶像の魚」	単	2019年3月	長久手市文化の家　展示室（愛知）	企画・制作・振付・出演
５．報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
1.保育者養成協議会セミナー　分科会話題提供者	共	2019年9月	全国保育者養成協議会岐阜大会 話題提供Ⅱ　「子どもの「身体表現」の多様性を考える～現代アートのおけるダンスの広がりに示唆を得て～」	身体表現を「ダンス」という一側面的な捉え方をするのではなく広義にとらえることで、その指導や援助の幅を広げることができる。また幼児期において、からだを動かして表現する「身体表現」は、5領域の複合的な重なり合いをつなぐ役割を担うことができると考えられる。これについて、現代アートとしてのダンスの広がりを紹介しながら、幼児の身体表現活動をどのように捉え、教員養成時期に「身体表現」に関わる内容を扱うか討論を行った。
2.総合科学研究所「大学における効果的な授業の研究７」	共	2017年から2020年3月	名古屋女子大学総合科学研究所	大学の現状を踏まえて、研究領域を授業開発・研究開発に置き、自己点検・自己評価で明らかにされた結果を踏まえて、平成13 年度から授業改善プロジェクトを続けている。今までの各研究成果や本学における教育の現状をかんがみ、平成27 年度より「学生が主体的に学修する力を身につけるための教育方法の開発」（平成27～29 年度）に着手した。
６．研究費の取得状況				
1.Arts For the Fueture	単	2020年4月	文化庁	
2.名古屋女子大学教育基盤研究費	単	2018年4月から2019年3月	「子どもの表現活動教育におけるコンテンポラリーダンステクニックの有効性」	同時代的なダンスである「コンテンポラリーダンス」に焦点をあて、その自由な発想のもとに行われる身体表現のテクニックに着目した。教育への導入方法の検討では、近年学校教育で導入されている「ダンスワークショップ」および「ダンスアウトリーチ」の実態を調査し、学校で行われるダンス教育について外部講師を招いた体験型授業の導入の効果や意義について考察した。
3.学術研究助成基金助成金（基盤C）	共	2017年から2019年	「過疎高齢化する夜神楽の伝承現場から探る後継者確保・育成の方途」研究分担者	宮崎県の夜神楽の後期者確保・育成について、「現代的なダンス」の視点から、夜神楽の踊り分析教材化に関する助言について研究分担者として協力した。
4.名古屋女子大学教育基盤研究費	単	2016年から2018年3月	「子どもの表現活動教育におけるコンテンポラリーダンステクニックの有効性」	「ダンス」「表現運動」「表現遊び」における指導法として、コンテンポラリーダンスのテクニック導入の有効性を考察し、教育現場へのアプローチ方法を提案することを目的とした。研究では、学校の教員以外の大人が教育現場に介入することの難しさという課題を新たに発見することとなった。一方で、地域連携の意味で劇場を中心に新しいコミュニティーを創っていくことにつながる可能性も見出すことができ、劇場とアーティストと学校をつなぐシステムの構築の必要性が伺えた。

学会及び社会における活動等	
年月日	事項

学会及び社会における活動等	
年月日	事項
６．研究費の取得状況	
1.2016年4月～（現在）	日本体育・スポーツ・健康学会
2.2014年12月～（現在）	舞踊学会
3.2014年12月～（現在）	比較舞踊学会